



『ミミとまいごの赤ちゃんドラゴン』

マイケル・モーパーゴ／作 ヘレン・スティーヴンズ／絵
おびかゆうこ／訳 徳間書店 2016

ゆきふかい山^{やま}のふもとにあるドルタ村^{むら}のおまつりでは、毎年^{まいとし}、村人^{むらびと}の中からえらばれた者^{もの}が、「ミミと山^{やま}のドラゴン」のお話^{はなし}をはなし^{つた}えています。小さな村^{ちいむら}を救^{すく}った優しい女^{やさおんな}の子^この心^{こころ}あたたまるおはなしです。



『よむプラネタリウム冬の星空案内』

野崎洋子／文 中西昭雄／写真 アリス館 2016

ひの入りととともに、あたりがやみにつつまれていきます。冬^{ふゆ}のみじかい一日^{いちにち}がおわり、星^{ほし}の時間^{じかん}がはじまります。冬^{ふゆ}の星^{ほし}空^{ぞら}は、一年^{ひとねん}でいちばんはなやかな星^{ほし}空^{ぞら}です。さあ、いっしょに、星^{ほし}空^{ぞら}たんけんにしゅっぱつしましょう。



『エルボル キルギスの12歳 学校へいきたい!世界の果てにはこんな通学路が!』

パスカル・プリッソン／原案 ミリアム・ダーマン／翻案
エマニュエル・ギオネ／写真 飲肥紉／編訳 六耀社 2016

エルボルは、キルギス共和国^{きょうわこく}に住^すんでいる、12歳^{さい}の中学生^{ちゅうがくせい}です。エルボルの家^{いえ}は標高^{ひょうこう}2400メートルの山^{やま}の奥地^{おくち}にあり、愛馬^{あいば}のブルと、毎日^{まいにち}13キロの山道^{さんどう}をおよそ3時間^{じかん}かけて通^{かよ}います。学校^{がっこう}へ行^いきたいと願^{ねが}う男^{おとこ}の子^このお話^{はなし}です。



『オンネリとアンネリのふゆ』

マリヤッタ・クレンニエミ／作 マイヤ・カルマ／絵
渡部翠／訳 福音館書店 2016

オンネリちゃんとアンネリちゃんが、お庭^{にわ}の冬^{ふゆ}じたくをしていると、とつぜん、ふたつの光^{ひかり}があらわれました。まるで光^{ひかり}る目^めのようです。二人^{ふたり}は背^せすじがゾクツとしました。いったい何^{なん}の光^{ひかり}なのでしょう。



『ニット帽の天使 プロイスラーのクリスマス物語』

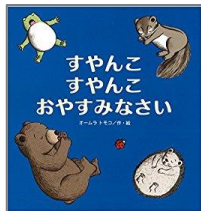
オトフリート・プロイスラー／作 ヘルベルト・ホルツィング／絵
吉田孝夫／訳 さ・え・ら書房 2016

クリスマスの夜^{よる}には、わんぱく小僧^{しょうじょう}の少年^{しょうねん}に、成績^{せいせき}がいまいちの生徒^{せいと}に、パン職人^{しやくにん}の見習い^{みなら}として働きづめの若者^{わかもの}に、そして貧しいおばあさんにも、思いがけない奇跡^{きせき}が起こります。プロイスラーのふるさと、ボヘミアに生^{なま}きた人^{ひと}たちの、真冬^{まふゆ}の白^{しろ}い雪^{ゆき}につつまれた、神^{かみ}さまとの出^で会^あいの物語^{ものがたり}です。



クリスマスの おくりもの 2017

このブックリストは出版社の許可を得て表紙を掲載しています。
みやざきけんりつとしょかん こどもしつ(0985)29-2596



『すやんこすやんこおやすみなさい』

オムラトモコ／作・絵 鈴木出版 2016

もりのなかで どうぶつたちが せつせと ふゆじたくをはじめます。じゅんぴができたなら すやんこすやんこ おやすみなさい。むしや どうぶつたちの ねむるすがたがかわいらしく いやされる えほんです。



『ゆきゆきゆき』

たむらしげる／さく 福音館書店 2016

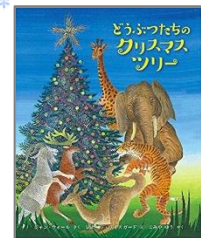
ふゆのそら つめたい くもの なかで ゆきの あかちゃんがうまれました。ゆきの あかちゃんは だんだん おおきくなって うつくしい けっしょうになりました。ゆきの けっしょうは ひとつひとつ にているようで どれも ちがうかたちをしています。そして ゆきは すべてに しろく ふりつりました。



『きつねくんのもりのおともだち クリスマスのちいさなおはなし』

ティモシー・ナップマン／さく
レベッカ・ハリー／え 木原悦子／やく 世界文化社 2016

ふゆじたくをしなないで なつもあきも あそんでいたきつねのハリーくんは ふゆになると ひとりぼっちになってしまいます。みんなのことを きいとけば よかったと つぶやくと あたまのうえに なにかが おちてきました。



『どうぶつたちのクリスマスツリー』

ジャン・ウォール／さく レナード・ワイスガード／え
こみやゆう／やく 好学社 2016

しずかな ふかいもりの おくで クリスマスが はじまろうと しています。もりに すむ どうぶつたちは もみのきの かざりをつけたり それぞれ じゅんぴを はじめています。どうぶつたちの すごす クリスマスを のぞいてみませんか。



『そらとぶそりとねこのタビー』

C. ロジャー・メイダー／作・絵 齋藤絵里子／訳 徳間書店 2016.

あるばん ねこのタビーが めを さますと そこにいたのは おじいさんでした。おじいさんの もっている ふくろに タビーは おもわず はいってしまいましたが、おじいさんは それに きづかず かえってしまいます。タビーは どうなってしまうのでしょうか。



『あきとふゆはたけのごちそうなーんだ？』

すずきもも／作, 有村利治／監修 アリス館 2016

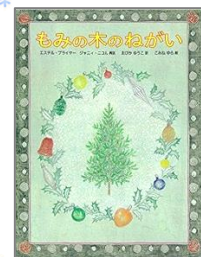
ひろい はたけには ごちそうが いっぱいです。もじゃもじゃ ふさふさ ごろごろ ぴん。さて なにか あるのでしょうか。おみせに ならぶまえの やさいたちが どんなふうにおおきくなるのかを おしえてくれます。やさいの いのちを かんじてみましょう。



『人形の家に住んでいたネズミー一家のおはなし』

マイケル・ボンド／文 エミリー・サットン／絵 早川敦子／訳 徳間書店 2016

おおきな やしきの なかにある にんぎょうのいえに ねずみのいっかが くらしていました。しあわせにくらしていた ねずみいっかに あるひ たいへんなことが おこり すむところが なくなってしまう。



『もみの木のねがい』

エステル・ブライヤー／再話 ジャニィ・ニコル／再話
おびかゆうこ／訳 こみねゆら／絵 福音館書店 2016

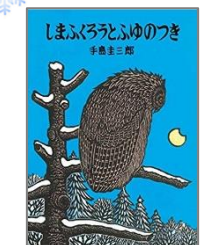
ちいさな もみのきは いつも しょんぼりとしていて げんきが ありません。もみのきは じぶんの ちくちくと とがったはっぱが きらいでした。そんな もみのきの まえに ようせいがあらわれます。さいごに ころが あたたくくなります。



『北極の宝もの』

ダナ・スミス／文, リー・ホワイト／絵, みはらいずみ／訳 あすなろ書房 2016

ほっきょくの ふゆは しろばかりの せかいです。いろは どこに いったのでしょうか。あるばん おじいさんと おかにいって まっているといろとりどりの オーロラが よぞらを そめました。なんて すばらしいのでしょうか。いえにかえっても あたまのなかは いろで いっぱいです。



『しまふくろうとふゆのつき』

手島圭三郎／絵・文 絵本塾出版 2016

みなさんは しまふくろうを していますか。しまふくろうは せかいさいだいの ふくろうで ひとのいない しぜんだけが のこされたばしょで せいかつを しています。そんな しまふくろうのせいかつが うつくしいはんがで ちからづよく えがかれています。